

ごみゼロネット推進会（第18回）議事録

開催日： 2010年（H22年）2月 8日（月）10:00～12:00

場所： ウエスト

出席者： 平林、市原、杉本、大橋、加賀谷、東、桐生（作成）

議題：

1. HDMシステムの実証実験を行うための陳情書の説明と検討

- 小金井市の行政にHDMシステムの実証実験を行うよう陳情したい。3月の議会に掛けて貰うため、2月23日以前に議会に提出し、併行して議員たちの支持を取り付ける作業に入りたい。（市原）
- HDM推団体名は「とんぼの会」「特定非営利活動法人ニア SOHO 小金井」「ごみゼロネット」の3団体とし、代表者は市原、大橋、平林とする。ここで揉んで貰った陳情書の最終版に3名の印鑑を捺し、議会に提出する。（市原）
- 市原氏作成の原稿に対し、多数の提案がされた。（全員）……それらを盛り込んだ形で陳情書を仕上げ、MLで流して各位の最終確認をいただく。（市原）
- 議会にて陳情書に関して説明するのは市原氏とする。仮に市原氏が重大な要件で欠席する場合は、桐生が代理で説明者となる。（全員）
- 陳情書が提出された段階で「ごみゼロネット」に陳情書を開示する。（大橋）

2. 陳情書にセットとなる説明書の説明と検討

- 陳情書は性格上、瑕疵がないように書かねばならぬので、その内容を具体的に説明する補足的な資料を作成し、議員たちに説明の時などに活用する。今回HDMシステム実証実験のスキーム（仕組み）を説明する資料を作成したので、ご検討いただきたい。（桐生）
- 全員による検討で多数の指摘があった。……ご提案に基づく改訂版をMLにて最終確認していただく。（桐生）
- 世帯数を500から1000にして、1日処理量を1tとする。このために加賀谷氏に菌床面積0㎡の実証試験施設の図面を作ってください、その図を取り込んで最終版を作成する。（大橋）

3. まちづくり条例に基づく申請書作成の提案（東）

この市民運動をまちづくり条例に基づく活動として申請して登録できれば、行政も無視することができなくなり、実現性が高くなるのではないか。（条例の内容解説と具体的な提案あり）

以上

次回打合せ 日時： 3月1日（月）10:00～12:00 / 場所： ウエスト



